

1月号

広報

1984



と

No.137

昭和59年1月1日発行

発行所 船戸町役場

電話 08945 (代) 2-0111

〒796-05 愛媛県船戸町三孔

編集 企画調査課

迎春



地名の由来

大久

：汗と油で岩石を砕き段畑とした。土地は肥え作物の実りはあった。ある年のこと、大干ばつがあり、雨乞いで神仏に祈ったが降らなかつた。

浦人の中に律義者で半蔵という農民がいた。この人にはこの世に二人といないと噂される氣立てのやさしい娘と二人暮らしであった。名は久と称した。：半蔵は久を雨神様に差し上げますので雨を雨をと必死で祈った。すると待望の慈雨となり、枯死寸前の作目は生氣を取り戻した。浦人たちの喜びは筆舌に尽くせぬ状態であったそう。と同時に娘久の姿はこの浦から消えた。

浦人たちを救ってくれた、半蔵や娘久の徳行に感謝と尊敬の念を忘れないために地名を大久と呼ぶようになったと一説では伝えられる。

(船戸町誌編集委員会資料から抜粋)

新年のごあいさつ

瀬戸町長 阿部 茂久



町民の皆様、あけましておめでとございます。ご家族おそろいで、よいお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

自由民主の議席減少と国際的にも、国内的にも多事多難の年でありました。このような潮流の中、私は昨年十月町長就任以来「対話と協調」を基本理念として、町政の伸展に取り組んでまいりました。

月経着手し、三月完成スタートと防災及び救急医療に明るい展望が見られます。これほどにえに町民の皆様方のご支援ご協力のたまものであり、心から感謝申し上げます。

民の皆様をひとりでも増やす町政の推進と、町民生活の充実のために皆様方の先頭に立て進みたいと存じます。何とぞ一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



年頭のごあいさつ

瀬戸町議会議長 福島 朝行

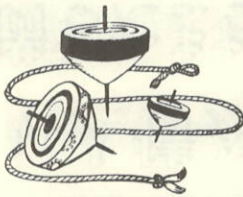


お迎えのこととお喜び申し上げます。町民の皆様には日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ここに新年を迎え瀬戸町の一段の躍進を期して清新の気がみなぎるのを覚えます。

の高齢化・経済成長率の鈍化など様々な面で成熟化が進み大きな転換期にさしかかっており、またすでに実行の段階に入った行政改革の推進等々困難な問題が緊急課題となっております。今日の時代は「おとしん」つまり辛抱の時代といふようにもいわれております。今こそ私たちが、戦前戦後の歴史の中から後の世代のために何を残し、何を改めるべきか、新しい目で、何を発見し、そしてどこに向かって進むべきかを、お互いの衆知を結果し

て活力ある個性豊かなふるさとづくりを目指して地域住民の代表としての使命に徹し、議会機能の高揚を図るとともに町村自治の振興発展のために邁進することを十二支最初の一「子」の年にあたりお誓いし、町民生活の安定向上を図るため今後さらに創意工夫を重ね皆様方のご期待にこたえるよう決意を新たにしております。

ともに御家族皆様方の御繁栄と、御健勝を心からお祈りいたします。



初春のごあいさつ

愛媛瀬戸町農業協同組合組合長理事 中西 正利



明けましておめでとございます。平素は農協事業に対し格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。昭和五十九年は農業・農協にとりまして、昨年来のきびしい情勢を引き継いでの年明けとなりました。

ひとたび耕地が荒され農業から離れた労働力や技術は一朝一夕にとり戻すことはできません。「ふるさと」を守り国民の食糧を確保するためにも、国家的コンセンサスの中でこれ以上の農業後退を阻止しなければなりません。一方、町内農業はみかんをはじめ柑きつ生産物の停滞・品値低下・価格低迷・生産意欲の減退といったパターンになっております。

ますが、私達は組織力を結集してこれらの課題に対処していかねばなりません。しかし、地域社会として明るい希望も実現しつつあります。かつては陸の孤島と呼ばれ未開発地域の見本とされた佐田半島も、国道一九七号線をはじめとする道路網が整備されつつあること、南予用水事業の進展であります。

農協協同組合は組合員の組織であると共に、施設や事業機能は地域社会のものであります。今後は一層の地域協同組合を推進致したいと存じます。皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。本年が幸多い年でありますようお願い申し上げます。



ごあいさつ

瀬戸町商工会長 阿部 敏潮



明けましておめでとございます。輝かしい昭和五十九年の新春を迎え、皆様のご健康を心からお祈り申し上げますとともに、平素から町の商工業に対するご理解とご支援に対し、深く感謝申し上げます。

現在、商工会では、地域経済の振興とまちづくりに取り組んでおり、その具体的な方策を模索しております。そこで、昨年町と、皆様の協力を得て、「一五〇世帯を対象に地域問題に関する住民意識調査を実施しました。その結果、得られた町に七・七・三〇といふ数字が七・七・三〇であったのに対し、町の将来に悲観的な見方をしている方が四五・三〇もありました。又、

町内にある資源でこれから活用すればよいと思われるものについては、四十四種類の資源とそれぞれの活用アイデアをいただきました。そこで、今年も、この調査結果を松山商大原田教授に分析していただき、御指導を仰ぐと共に、地域問題懇談会を開催し、瀬戸町に住むことのできる楽しさを味わうことのできる郷土づくりに、一歩でも近づけるよう、努力を重ねる所存でございます。

引き続き、皆様方の商工会に対する変わらぬ協力とご理解をお願い申し上げます。新年のごあいさつと致します。



瀬戸町基本構想 59-63年 基本計画

美しい自然と温か 活力とうるおいに

一 老人福祉

(1) 老人福祉センター等、各種福祉施設の集中的整備充実を図る。

(2) 豊かな経験を生かした社会的活動に参加する機会を確保する。

(3) スポーツ等による健康増進を図ると共に、文化活動への積極的な参加を促進する。

(4) 老人クラブ組織の強化と自主活動の指導を図る。

二 人間性あふれる福祉をめざして

(1) 国庫負担金、補助金に因する制度の改善を図る。

(2) 被保険者の健康管理教育や健康づくりを強化し、国保会計の健全化を図る。

(3) 保険給付水準の向上に努める。

(4) 直営診療所の体制を整備する。

三 国民健康保険

(1) 在宅養老老人に対する家庭ヘルパーの派遣拡大や給食サービス等各種サービス事業を強化する。

(2) 老人の病氣や心身の健康管理について「予防・治療・リハビリテーション」にわたる系統的な相談指導体制を確立する。

(3) 老人と社会との交流の機会を増大させ、敬老思想の普及啓発を図る。

二 心身障害者(児)福祉

(1) 障害者に対する理解を高めることにより、社会参加の促進を図る。

(2) 障害者や保護者の組織を育成する。

(3) 障害者の自立促進のための施設充実を図る。

(4) 障害者及び保護者の生活安定のための諸施策を充実する。

三 母子(父子)及び専業主婦福祉

(1) 母子家庭及び専業主婦に對する経済援助の諸施策の充実により、自立の促進を図る。

(2) 親子のふれあいを深めるための激励事業とともに、生活指導や相談により生活の安定を図る。

六 国民年金

(1) 年金制度の本質を周知徹底し、百パーセント加入を確

一 学校教育

(1) 地域を統合した校区の再編を図り計画的な教育環境の整備を進める。

(2) 地域社会や家庭との連携を密にし、児童生徒の個性豊かな人格及び社会環境に適應できる能力を育てる。

(3) 地域の自然を生かした教育を推進する。

(4) 給食は、食事内容の多様化を図るとともに、児童生徒の心のふれあう好ましい食事環境に努める。

(5) 義務教育及び高等教育における就学援助を図る。(次頁に続く)

三 ゆとりある教育と香り高い文化をめざして

(1) 年金相談機能をより充実し、受給者に有利な指導に努立する。

(2) 年金相談機能をより充実し、受給者に有利な指導に努立する。



い人情が調和した 満ちたまち瀬戸!!をめぐして

No.4

今回からは基本計画、つまり具体的な計画方針にはいりません。これには、現況と問題点、主要施策の体系、そして計画からなっているが、本号では紙面の都合上、計画のみご報告いたします。ご了承ください。

第三章 基本計画

第一章 参加とふれあいのあるまち

第一 地域活動の活性化をめざして

一 コミュニティ活動

(1) 文化・スポーツなどコミュニティ活動施設を整備するとともに、既存施設の有効利用を図る。

(2) 生涯学習やスポーツレクリエーション、生活改善、伝統芸能の振興など、コミュニティ活動の機会拡充に努める。

(3) コミュニティ活動に必要な情報の提供に努める。

(4) 青少年指導者や、ボランティアリーダーなど、コミュニティリーダーの発掘と養成

第二 開かれた町政をめざして

一 行政への町民参加

(1) 「町政お茶の間」懇談会など町民と町政との対話の場と機会を提供する。

(2) アンケート調査や各種審議会の充実により、町民意識の把握に努める。

(3) 行政相談体制を充実する。

(4) 広報活動の強化や、情報公開などにより町政に関する情報を広く提供する。

二 関係機関との連携

(1) 広域圏計画に基づき、生活関連施設や文化的環境づくりに努める。

(2) 県全体の中での八幡浜・大洲地域の地歩を確保するため、国道一九号バイパス及び四国縦貫自動車道の早期開通ならびに、瀬戸内海大橋の実現など広域的諸事業の推進を図る。

(3) 知事提唱の西瀬戸経済圏構想の実現をめざし、地域の特性に応じた機能分担と地域開発を促進する。

第二章 健康と生きがいのあるまち

第一 生涯にわたる守られる健康をめざして

一 健康

(1) 母子保健をはじめとして、健康づくりに関する基礎知識を普及する。

(2) 各種学級やクラブ活動において、健康教育を浸透させ、自主的な健康づくり組織を育成する。

(3) 健康保健センターの整備を図る。

(4) 健康手帳の配布により、継続的な健康測定や生活指導システムを強化する。

(5) 人間ドックへの入所を促進し早期発見に努める。

二 医療


(1) 乱受診者などの保健指導を強化する。

(2) 早期発見、治療のために乳幼児・成人・老人の各検診体制を充実する。

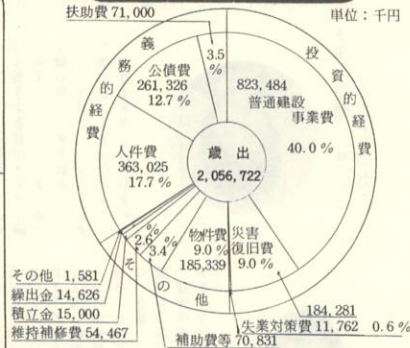
(3) 健康増進・予防・機能回復と一連の包括医療を提供

20億6千万円使った

町税と住民負担の状況

固定資産税		町民税	
			
1人当り 9,141円	1人当り 10,868円		
1世帯当り 25,708円	1世帯当り 30,560円		
電気税		たばこ消費税	
			
1人当り 1,270円	1人当り 3,076円		
1世帯当り 3,572円	1世帯当り 8,651円		
その他		軽自動車税	
1人当り 0円	1人当り 432円		
1世帯当り 0円	1世帯当り 1,216円		
			
合計	1人当り 24,788円		
	1世帯当り 69,702円		

性質別歳出のうちわけ



町有財産はこれだけあります

種別	面積
宅地	174,380 m ²
山林	29,518 m ²
池沼	13 m ²
建物	29,371 m ²

特別会計の状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	差引
国民健康保険事業 (事業勘定)	296,146	286,525	277,096	9,429
〃 (直診勘定)	94,190	78,866	92,932	△ 14,066
簡易水道事業	14,597	14,065	14,065	0
土地取得	2,163	2,148	2,148	0
港湾整備事業	11,412	11,174	11,174	0
住宅新築資金等貸付事業	8,657	8,541	7,227	1,314
学校給食	17,064	17,036	17,027	9
老人保健	17,307	16,254	11,993	4,261

町の台所

昭和57年度決算報告

地方自治法第238条第5項の規定により昭和57年度の本町の財政状況を次のとおり公表します。

昭和58年12月22日

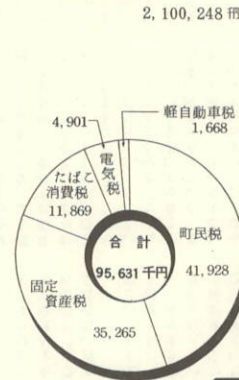
瀬戸町長 阿部茂久

町の借入金表

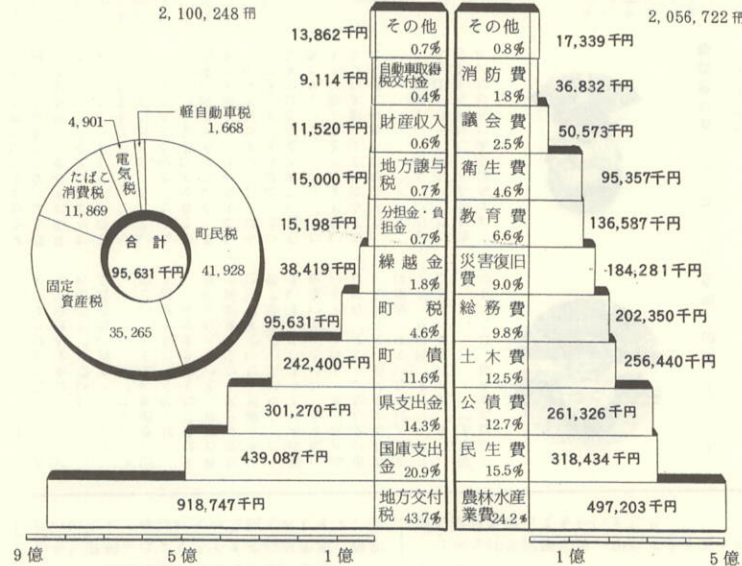
借入先	57年度末現在高	起債区分	57年度末現在高
大蔵省	13,552,741円	一般公共事業債	1,885,022円
郵政省	256,966円	一般単独事業債	2,306,100円
公共企業体公庫	29,412円	義務教育施設整備債	83,174円
市中銀行	8,852,000円	辺地対策事業債	1,036,553円
農協、その他の金融機関	85,824円	災害復旧事業債	866,070円
共済組合	13,920円	商業施設整備事業債	2,555円
その他(自治協会など)	9,053円	通商対策事業債	4,870,722円
計	18,390,699円	地域改善対策事業債	2,021,115円
		財政対策債	20,532円
		財源対策債	4,342,459円
		計	18,390,699円

国も予算を組むときは、税収の不足分は国債つまり借金をして予算をつくります。県や町村も同じです。本町には表のとおり57年度末で借金が18億余りあります。これは道路や用、学校などの公共事業が主な借金として残っています。返済は長期ローンつまり、みなさんが住宅新築したときの返済と同じです。しかし、このうち返済債、例えば大蔵省、郵政省からの借り入れは交付金にして返還してもらえる場合が多いのです。

歳入



一般会計





あけましておめでとうございます。

子(ネズミ)年は私達の年

う。最上級生になるんだから、勉強にスポーツに下級生のはんになるようなことを生もの。サッカーやソフトも最後の年だから自分の力を、フルに発せたい。そして、やむことのない、いい成せきを残したい。大人になつたら、小学生的とき、あんなことがあった、こんなことがあった、と思いつくだろう。いい思い出をいっぱい作りたい。

多くの第一の目標は、ソフトの町大会で、ゆう勝することだ。そのために、ぼくはピッチャーだから、投球練習でコントロールに一番注意してがんばりたい。長い試合、投げ続けるのだからマラソンをがんばり、体力をつけたい。

第二の目標は、勉強だ。特に算数をがんばる。ぼくのしよ来のゆめは、会社の社長だから、頭がよくないためだ。家を作る会社だから、設計や計算が大切だ。社員を大事にする社長になるために、友達や下級生と仲よくしたいと思う。

私の年

川之浜小五年 阿部 律子
今年私の年です。ねずみ年は、えとの中でも、一番です。そうすると、今年は一

番にもどつたことになりました。そういう話が「日本の民話」の中に書いてありました。私には、ねずみ年の人です。それに加えて、ねずみ年になると私は、さい高学年の六年になります。しっかりしてやらなければなりません。そして、てい学年にも、やさしくしてやらなければなりません。カレンダーには、ねずみの絵がかいてあります。私達はみんな、自分たちの年が来てうれいと思ひます。今年、うちの妹も、二年生になるので、いろいろ教えてあげなければなりません。そして私も、六年生になつたら、しっかり勉強して、バスケットや陸上にも、がんばりたいと思ひます。それから、六年生になると、いろいろなまめがあるのです。それもがんばりたいと思ひます。それに、修学旅行などがある年です。今年も、とても楽しい年にしようです。今までのよりいい年にしよう。



子年によせて
川之浜 福山 王子

今年の子年で私も年女ということになりました。若い頃はあれもしたい、これもしたいという気持もあり、自分勝手に突っ走っていくこともあり、周りの人々の意見にも耳をかきさすよく失敗をしました。が、そろそろ今の私達の年頃になれば、それなりの自覚と責任を持って生活していかなければいけないことを、毎日の生活の中で痛感しています。私も三人の子供を持つ家庭の主婦として、家族の健康管理に気を配り、家庭が明るく安らぎの場所になるよう、そんな家庭経営をしていきたいと思ひます。

子年は子孫繁栄、五穀豊稔の年といわれています。月並みな言葉ですが、あまり高望みすることなく、毎日を自分なりに「ゆとり」を持って生活し、充実した一年にしたいと思ひます。

思うこと



小島 高月 清

あけましておめでとうございます。今年の干支はネズミ。私は今人間に近づいて考えています。人間は生きていて学校へ行き、やがて社会人となりそして老後を迎えることになり。単なる平凡な生活では私は満足できません。絶えず私は前を見つめながら、危険な所につき当たつた時は一度立ち止まり、自分で判断し、回り道をしてでも着実に、階段を一步一步上がるように、自分に忠実に歩んで行こうと考えています。

仕事面では、自分にシビアに、確実に、また楽しくやっけていきたいと思ひ、人を愛し、心豊かな心の広い人間になることを目標にして歩んでいこうと思ひます。

人の言動に迷わず、常に冷静で、自分の性格を生かし、人を愛し、人から愛される人間になるよう人生を歩みたいと思ひます。

昭和59年度の幕明けです。みなさんはそれぞれ輝やかな夢や希望を抱きスタートされたことでしょう。

今年十二支の「一番手」。ネズミの年です。ネズミは農産物や食料品を食い荒らすことから「評判」はよくありませんが半面、縁起がいいとして尊ばれている例もあります。特

に白ネズミは昔、大黒様の使者といわれ、吉兆とされてきました。一方「古事記」には、オオクニスミノミコトを火の中から助け出す話などネズミに関する良い「評判」はたくさんあります。

今年も昨年同様年男、年女である方々に希望や抱負を語ってもらいました。

ぼくの年

大久小五年 浜田 知也



今年ねずみ年、ぼくたちの年です。

今年、がんばりたいことは、スポーツです。特にサッカーをがんばりたいです。理由は、昨年町大会に負けてくやしい思いをしたからです。昨年はみんな一人一人はとってもいい動きをしたけど、広い運動場にあつたうさでしまいいました。今年も広い運動場で思いきり練習したいです。川之浜小や三机小の広い運動場で毎日練習している人たちに今年も負けたくありません。

一日も早く、大久小学校も広い運動場になると思ひます。ぼくに、思ひ出に残る一年にしたいです。そのため、一日一日を全力投球でがんばって、いこうとほりきっています。

ねずみ年をむかえて

小島小五年 谷口恵四郎



ねずみは手あたりしだいに物をかじり、だからもえんわれているが、一方ではえんぎのいいものとして親しまれてきた。

ねずみ年にうまれたぼくは、ねずみに比べてよく動きおつかいなとよくできると感じさせられる。しかし、じっくりと落ち着いて考えることはできない。ぼくが、つぎのねずみ年をむかえるのは、二十四才である。その時はもう立派に成人して自分の仕事をもっているころだ。そのころどうなっているだろうかと思わずにはいられない。みんなも変わり、身のまわりもずつとずつと変わって行こう。だから今年ねずみ年、何か記念に残るようなことをして二十四才をむかえたいと思ひます。それ

私の希望

三机小五年 大野由紀子



私は、いつでもみんな仲良くしようと思ひます。五年生になつてからも、少し仲間外れがあつたけど、今ではみんなとも仲がいい。でも、ちよつとしたことで口げんかになることがあります。来年は、今よりもずつと仲良くしたいと思ひます。

そして来年は六年生。児童会やいろいろなことでもいそがしくなります。五年生は、一番人数が少ない学級だ

今年の希望

塩成小五年 村上 昭



今年、ねずみ年。ぼくらは、三百六十六日、大切にしよう。

から、自分の係も多くなるし、さらにいそがしいと思ひます。人数が少ないからこそ、なおみんなで仲良くしなければなりません。

今、私たちはバスケットの練習をしています。五年生の女子は五人です。二月にある新人戦でも、五人で力を合わせてがんばろうと言ひ合っています。でも五人では足りないので、四年生とも力を合わせていっしょうけんめいがんばろうと思ひます。

今年、私たちの年。みんな仲良くし、明るい学校にするのも、最高学年としての自覚とほこりを持って、すばらしい三机小学校にしたいと思ひます。

投票区	投票所(場所)	当日有権者数	投票者数			投票率
			男	女	計	
第1	三机中央公民館	672	245	305	550	81.85
"2	塩成集会所	388	131	172	303	78.09
"3	足成集会所	255	96	107	203	79.61
"4	旧三机第2中学校跡	213	84	102	186	87.32
"5	小島集会所	159	59	75	134	84.28
"6	四ツ浜中堂講	489	189	223	412	84.25
"7	川之浜集会所	379	113	181	294	77.57
"8	田部集会所	167	58	91	149	89.22
"9	神崎集会所	178	59	86	145	81.46
計		2,900	1,034	1,342	2,376	81.93

12・18の衆院選挙
町内の投票率は82%
選挙は十二月十八日(日)町内九投票所においていっせいに投票が行われた。
当日の朝の天候は台風並みの西風と、みぞれの降る思いコンデションで投票率が心配された。しかし昼からは、天候もいくぶん回復し最終投票率は前回、五十五年六月二十三日衆参同時選挙の88%に及ば

←本町分、衆院選投票者数

候補者別得票数	候補者	願戸町	第3区
西田司	1,123	714,64	
今井勇	383	595,30	
田中恒利	308	544,54	
阿部喜元	514	195,81	
いながき豊彦	25	4,752	

なかつたものの、82%と高い投票率を維持した。
同日夜八時から役場会議室において、即日開票が行われ、別表のとおり結果であった。

足成の大石義幸さんの二女



千絵ちゃん

昭55年11月19日生まれ

命名はお母さん、上の子は字画などを考えたが、千絵はフィリピンで、お母さんやおばあちゃんのお仕事の手伝いをしたり、隣の岩井さんと遊びます。歌がすきで童謡から演歌までレパートリは広い。特に水戸が得意。めん類とお魚が大好物、刺し身には目がありません。タクシ一定員の関係上、保育園行きはダメに。最初は泣いていたが今はもうあきらめも。2,980gから13kgになっています。

三機の川田武義さんの二男



史朗くん

昭57年10月1日生まれ

おもちゃのヘリコプターや三輪車を楽しんで遊んでいます。リゴが大好き。2,700gから10kgになった。言葉や歩くようになったのは10月初旬。マンマ、バイバイ、パアパアなど。兄ちゃんがテレビを観ているのを消すのが専門です。命名はおばあちゃん。未長くはがらかな人間に育っての願いが込められています。

我が家のアイドル

たばこは 本年の五十七年度のタバコ収入は約一千六十万でした。町内で買いましょ 町外へ出る場合は、せ

飛行機が運れる等、前途不安なカナダ入りが、学校参観をしてその気持ちはいっぺんにふとんでしまいましたが、小・中・高の四校では、授業を参観したり、職員とデイスカッションをしました。まず学校を見て驚いたことは、教育システムです。小学校においては、自分の遅れている教科だけ、特殊学級で授業を受け、得意教科の時間になると本来の学級に帰って行きます。中学校で遅れている生徒は、進進児のための寮があり、追いつくまで、そこで寝とまり、夜も学習します。部屋には冷蔵庫、テレビ、洗濯機などがあり、まるでホテルに泊まっているようです。また、問題児に対しての指導部屋があり、(反省室)何も無い部屋にたまって十日間程度座らなくとも、まるで日本の大学生なみです。校区が広いので自転車です。生徒が多く、くわえタバコで登校してしま

北米視察記(2)

三机中学校 教諭 井上丈生

科を設置しているそうです。二日目の夜、一人でおタワ市まで散歩に行き、帰りに迷子になりタクシーで帰ったが、なかなか言葉が通じなくて困りました。夜、暇な時は、洗濯をしたり、テレビを見ました。言葉がわからないのだから当然です。したがって絵ばかり見ていました。マンガ、歌番組は全然無いのはおど



ろきました。国際電話も何とかがけました。一分間約千円です。カナダの食事は、ジャガイモと、肉(豚、牛、ブライラ)ばかりです。また、食後のデザートに朝食にでもケーキがつき困りました。とても広くて、きれいなカナダも終えて、一路ワシントン目指しました。カナダの気温約十度(ベリワールド) 次号につづく

町長日誌

- 11月
 - 1日 初登庁、八西市町及び地方局へ就任のあいさつ
 - 4日 伊方地域振興計画策定委員会出席(松山市)
 - 6日 町PTA研究大会出席(川之浜小)
 - 7日 港湾全国大会出席(神戸市)
 - 9日 県同和教育研究大会出席(松山市)
 - 11日 県庁へ就任あいさつ(松山市)
 - 15日 毛利先生をたたえる会出席(大洲市)
 - 17日 議員研修会参加(別府市)
 - 22日 松山法務局へ登記所存続の陳情(松山市)
 - 24日 広域消防第一分署(神崎)起工式出席
 - 25日 内外情報調査会出席(八幡浜市)
 - 28日 民生児童委員会出席
 - 29日 全国町村長大会出席(東京都)
- 12月
 - 7日 南予水産会出席(宇和島市)
 - 9日 広域消防進行打ち合わせ及び郡町村会出席(八幡浜市)
 - 14日 議会運営委員会
 - 20日 議会全員協議会
 - 22日 議会本会議

言葉の板に付く

「着物が板に付いていさ」とか「板に付いた新年の司会ぶり」というときの「板に付く」は、服装や態度がびつたりしている形容に使われる言葉です。
この「板に付く」の板は、もとは舞台の床板のこと。幕が開いてから役者が登場するのではなく、開幕のとき役者がすでに舞台の位置についていること、あるいは回り舞台に役者が集って出てくることを「板付き」と言います。
「板に掛ける」「板に乗せる」も、舞台にかけること、芝居を上履することを指します。役者のこなれた芸が、舞台にしっくりなじんで調和しているという意味の「板に付く」は、今では舞台ばかりではな

く、仕事によく慣れている様子や、身なり、動作が似合っている様子や、身なり、動作が似合っているさまをいうようになりまし。

また「板付き」は、文字どおり板に付いたもの、あるいは板の付いたものを指しますが、現代では、板の間や板敷きのことを「板付き」とは言わなくなりまし。日常語の例としては「板付きかまぼこ」ぐらいなものでしょう。

人々のうごき
(11月末日現在)

本籍人口	15,311人
世帯数	1,364戸
人口	3,815人
男	1,742人
女	2,073人

昭和58年11月分
求長くお幸せに

お礼

せと広報の発送費用にこそ寄付をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

- ▼金一財 湯島第三野田町在住で川之原出身の加藤重雄さん
- ▼金一財 高槻市松原町在住で三机出身の佐々木吉郎さん
- ▼金一財 北九州市八幡西区在住で三机出身の水野孝二郎さん

お誕生おめでとう



季節の花

(サザンカ)

「雪りガラスを手で拭いて、あなた明日が見えますか愛しても愛してもあーび人の裏赤く咲いても冬の花咲いてきびしいさざんかの宿」と大川栄作が歌いヒット中の懐歌の中のサザンカ。三机小の“庭”には約50本が植樹され見事な赤い花を咲かせています。12月26日撮影

おくやみ

潮風

◆十二月二十二日定例会が開催された。議案は補正予算など上程され原案通り可決された。この議会で前助役の大谷雅彦さんの退任のあいさつがあった。新助役の理事若狭案は次回議会に、ということになったようだ。十二月定例会関係は二月号で詳しくお知らせします。

◆一月現在「ふるさとからの便り」として転出していった方々約三百名に広報せとを毎月送付している。これは、懇会地と西里の一体性をねらいとしたものです。希望の向きがありましたら広報係まで。又、送付している香檳へぐあなだが育ち差んだ瀬戸町の思い出を西百字詰二枚程度にまとめて写真同封で送って下さい。

◆前月号の六・七ページの特別取組の始末の状況の中、つまり前三役、議員さんの項で期末手当三・八ヶ月とあるのは、「年間で三・八ヶ月」です。

◆本広報は十二月二十三日締切りで執筆中。一足早く、本年もご協力・ご支援を。